

佐久市佐久っと支援金事業 自己評価報告書

	評 価 日	令和6年	3月	1日
団 体 名	佐久地域“舞台芸術の日”運営委員会			
事 業 名	「つくろう！“舞台芸術の日”」こども実行委員会事業			
事業経費③	1,678,503 円	支援金額⑨	206,000 円	

事業の目的・内容	地域の課題 昨今佐久地域には移住者が増加している。私たち運営スタッフはほとんどが移住者である。都心から自然を求め、受けた教育を求めてきた移住者にとって佐久地域は住みやすい。求めてきたものを得られ、住み心地もいい。ただ一方で都心に比べて文化芸術の多様性、それに触れる機会は圧倒的に少ない。住みやすさを感じつつもまだ仮の住まいと考える移住者も多いのが現状だろう。佐久地域でも立派な公共劇場を有し芸術の鑑賞機会はあるが、松本市や長野市と比べると、演目は少ない。子どもにとって身近なものとしてキッズサーキットの公演があり、毎年チケットが即完売になるほど好評を博しているが、子ども向けの小さい作品が多く、作品の傾向がかたまってきている印象を受ける。芸術鑑賞は、生活の中に非日常の楽しみや豊かさをもたらすばかりでなく、未知の世界、他人の創り出す自分にはない世界観に触れる機会となる。それを自分がどう感じるのかを自覚することで、自分を見つめる良い機会ともなる。 <取り組みの必要性> 佐久地域でも都心のような本物の芸術に触れる機会が身近にあることにより、移住者のみならず、地域住民の生活がより豊かになる。劇場での多様な舞台芸術公演の開催は「文化を創っていく場」としての劇場の必要な機能である。 また、舞台芸術公演を単に提供するだけでなく、子どもがより身近に感じられる公演となるよう、子どもと共につくる子どもが主役となる事業展開が必要と考える。 ゆえに、「こども実行委員会」を組織し、未来の佐久地域の文化の担い手を育てると共に、佐久地域ではなかなか見られない本物の芸術公演を開催した。
	事業内容 ①人形浄瑠璃文楽座による文楽公演・ワークショップ実施 ②子ども実行委員会（7校15名の子どもが参加）

事	①公演開催 人形浄瑠璃文楽座による文楽公演・ワークショップ実施 ○日時：2023年10月28日（土曜日） ○場所：コスモホール小ホール・会議室 11:00～12:00 公演＋レクチャー（定員150名のところ完売満席） 演目1『二人三番叟』 演目2『伊達娘恋緋鹿子 火の見櫓の段』 出演：太夫1名、三味線2名、人形遣い6名 14:00～15:00 ワークショップ（定員20名のところ満席） ○子ども観覧無料 大人1,000円 ○広報手段：ホームページ、SNSにより随時情報提供 佐久市全小学校・佐久穂町小学校にチラシ配布、コスモホールなど公共施設への配架・イベント（佐久青年会議所主催「ココロオドル商店街」ブース出店）時のチラシ配布・宣伝動画、FMさくだいら2回出演、FM軽井沢出演
---	--

業
の
活
動
実
績

②子ども実行委員会

○募集方法：佐久市全小学校・佐久穂町小学校に募集チラシ配布
7校15名の子どもが参加

○開催場所：佐久市コスモホール、佐久市生涯学習センター

○スケジュール

5月 募集チラシ配布・募集開始

6月 6/25第一回こども実行委員会（チームづくり）

7月 7/15第二回実行委員会（公演のテーマ・どんな人に来てもらいたいかな）

9月 9/3第三回実行委員会（チラシ配布準備）

9/24第四回実行委員会（当日の仕事理解・分担・掲示物作成）

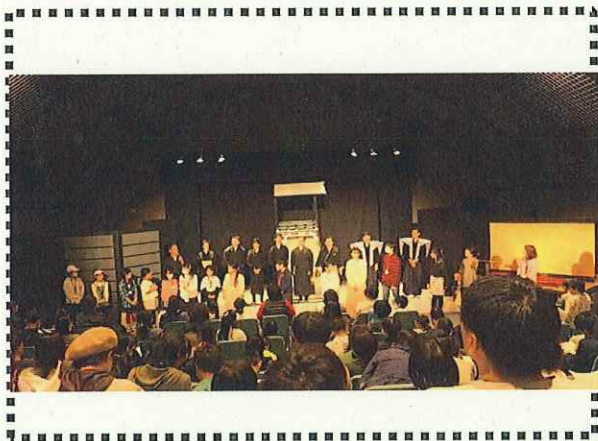
10月 10/15第五回実行委員会（当日のシュミレーション確認）

11月 11/19第六回実行委員会（公演振り返り・アンケート集計）

12月 12/10第七回実行委員会（公演記録作成）

1月 1/21第八回実行委員会（公演の作り方・コスモホール館長のお話）

2月 2/18第九回実行委員会（実行委員会活動まとめ）



別記様式第5号（6の2関係）〔2枚目〕

事業
の
成
果
・
効
果

○本事業にかかるコスモホールののべ来場者数360人（うち6.4割が子ども）（こども実行委員会を含む）

○公演後の来場者アンケート

また来年もこのような公演をやってほしい…9.5割

伝統芸能に興味を持った…8割

こども実行委員会に参加してみたい…5割

○こども実行委員会へのアンケート

またこども実行委員会をやりたい…5割

文楽への理解が深まった…8割以上

アンケート結果でも「またこのような公演をやってほしい」という声が98%に上った。文楽という今まで触れたことのなかった芸術に触れる機会を得、「人形の繊細な魅力にびっくりした」や「色々なトリックがあって迫力がすごかった」「期待の10倍楽しかった」という声を聞いた。文化芸術の新たな一面に気づき、佐久地域の他の文化芸術活動も幅広く豊かになる期待が持てた。

1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった

事業は申請どおり実

自己評価を記入

自己評価	施しに	今年度初めての取り組みだったが、申請通り全て実施し、会計の会計の管理も適正に行えた。
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	☒ 1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 自己評価を記入 目標数値を上回る結果を得ることができた。9.5割の人がまたやってほしいと言う回答をしてくれ、舞台芸術の新たな魅力に気づいてくれたことは期待以上の効果だった。
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ ☒ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由（2、3と答えた場合のみ） 計画段階では予期できなかった人形輸送費や、チラシの枚数の増加などがあった。収入に関しては大人にはチケット代を徴収し、事業収入が増加した。
	その他、評価すべき点等	「文楽」と言うあまり馴染みのない演目であったが、日本の伝統芸能として、その魅力をたくさんの人に味わってもらうことができた。子どもたちが予想以上に積極的に関わってくれ、チラシの配下のお願いや、ラジオ出演・イベントブース出展など、宣伝活動が幅広く行えた。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	今年度事業を始めて、佐久地域でなかなか見られない舞台芸術公演をする意義を大いに感じ、こどもスタッフたちの意欲も予想以上に感じた。今後はこどもスタッフのアンケートを生かし、こどもたちに任せる部分を明確にし、もっと自分達で作っているという感覚を持ってもらう実行委員会にしていく。そして、会場をもっと広い会場に変え、たくさんの人に伝えられるようにする。今後長く継続していくことを鑑み、今年度と同じように事業収入をあげ、協賛企業との繋がりも太くしていく。
---------	---

小学4年生～中学生

10/28コスモホールをお客さんでいっぱいしよう♪

ぶたげい
舞台芸術の日

第1期

こどもスタッフ募集!

佐久地域
「舞台芸術の日」
って?

ぶたげいスタッフ募集!!



年に1度いつもはなかなか
見られない舞台芸術を
佐久地域の子も達が
無料で楽しめる日!

第1回目は2023年10月28日(土) 佐久市コスモホールで開催!
一緒に準備し成功させる「ぶたげいこどもスタッフ」を募集します。

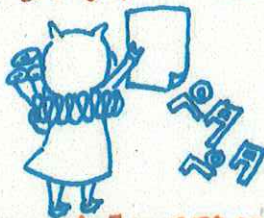
ぶたげいこどもスタッフとは

年に1度の佐久地域「舞台芸術の日」を成功させるために、実行委員会を
月1回開催します。公演の「企画」から当日の「運営」までぶたげいこども
スタッフを中心にやっていこう。

●たとえばこんなことをやるよ

ex. 来てくれるアーティストさんと打ち合わせ

ex. 宣伝してお客さんを集める



ex. 当日の会場をステキにする

ex. お客さんの受付をする



スケジュール



- | | | | |
|------|--------------|----------|------------|
| 第1回 | ぶたげいこども実行委員会 | 6/25(日) | 9:00～11:00 |
| 第2回 | ぶたげいこども実行委員会 | 7/15(土) | 9:00～11:00 |
| 第3回 | ぶたげいこども実行委員会 | 9/3(日) | 9:00～11:00 |
| 第4回 | ぶたげいこども実行委員会 | 9/24(日) | 9:00～11:00 |
| 第5回 | ぶたげいこども実行委員会 | 10/15(日) | 9:00～11:00 |
| 公演当日 | 10/28(土) | 11:00～ | 文楽公演 |
| | | 14:00～ | 文楽ワークショップ |

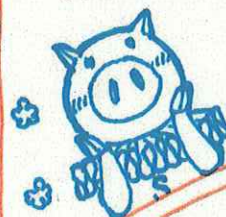
第6回 ぶたげいこども実行委員会 11/2(日) 9:00～11:00

これ以降は集まったメンバーで日程を決めます

ぶたげい
今年の公演は文楽

ウラを見てね

来年度は、どんな演目
アーティストを呼ぶか
1からみんなで考えるよ



こんな人
行ってます♡

♡ みんなで作りあげることが
好きな人

♡ みんなが喜ぶことをするのが
好きな人

ぶたげいウラ
♡ 舞台裏に興味がある人

♡ やってみたい! おもしろそう! と

思った人

佐久に文楽が やってくる!

わくわく・びっくり 人形劇の世界

2023 10/28(土)

11:00 開演 10:30 開場
(上演時間/2演目・1時間程度)

同時開催

出演者による、
人形を実際に操れる
ワークショップ

参加無料
定員 子ども20名

14:00~15:30 | コスモホール会議室 |

演目1 人形浄瑠璃文楽座

にん さん ばん そう
二人三番叟

お祝いの舞で人形二体で踊ります。1人が休もうとするともう1人が呼びに来て、ヘトヘトになるまで踊り通します。

演目2 人形浄瑠璃文楽座

だ て むすめこいの ひがのこ
伊達娘恋緋鹿子
ひ の みやぐらの だん
火の見櫓の段

切腹を迫られる恋人を救うため、主人公のお七が処刑を覚悟で火の見櫓に登って鐘を打ち鳴らすクライマックスが見どころ!



場所

佐久市コスモホール
小ホール 佐久市下小田切124番地1

料金

18歳以下の
子ども 無料
大人 1,000円(税込)

全席自由
定員 150名

要事前予約 ※子ども1人につき大人1人まで入場可

お申込み

公演のご予約、ワークショップのお申込みはこちらから

予約受付 9月9日(土) 10:00~

3歳以下で膝上鑑賞される場合は子ども分の申込み不要。(お席をご利用の場合は申し込みください。)



主催/佐久地域“舞台芸術の日”運営委員会
+ぶたげいこどもスタッフ

協賛/株式会社東急文化村、株式会社MoSAKU、
ダンスクラブKDC、道の駅ほっとばーく・浅科

お問い合わせ

saku.butagei@gmail.com
090-4724-1031(大村)

佐久地域“舞台芸術の日”ホームページ
http://butagei.hp.peraichi.com/



佐くに文楽がやってくる! 人形劇の世界

文楽ってなあに?

文楽とは人形浄瑠璃文楽座のことで、日本の伝統芸能です。300年以上前に始まりました。一体の人形を大人三人がかりで操り、太夫の語りと三味線の演奏によって話が進んでいきます。人形を操る人と、セリフを言う人が別々という日本独自のスタイルです。

出演者	とよたけ やすたゆう 豊竹靖太夫	つるさわ せいじょう 鶴澤清丈	よしだ たましよう 吉田玉翔
	たまよ 吉田玉誉	たまみち 吉田玉路	みのゆき 吉田蓑之
	たまのぶ 吉田玉延	たまゆき 吉田玉征	他



人形はとても精巧にできていて、人形がどこにいてもまるで自分を見ているように感じるよ。人形劇だけど迫力のある音楽もついて、人形の感情も豊かに表現される魅力あふれる世界なんだちい!



ぶたげいこどもスタッフって?

私たちはぶたげいこどもスタッフです!
年に1度の佐久地域“舞台芸術の日”を成功させるために月に一回実行委員会を開催しています。公演の企画から運営までぶたげいこどもスタッフを中心となって活動しています。



佐久市、御代田町、佐久穂町から集まったぶたげいこどもスタッフ

佐久地域“舞台芸術の日”運営委員会とは

私たちは、普段はなかなか見られない舞台芸術を年に一度子どもたちが無料で楽しめる機会を提供したいと今年度立ち上がりました! 舞台という非日常の世界は、生活を豊かにするばかりでなく、自分になかった世界観に触れることで自分を見つめる機会にもなります。また「ぶたげいこども実行委員会」を組織して、子どもたちと共に一から舞台芸術の日を企画運営しています! 劇場は文化を創る場。未来の佐久地域の文化の担い手を育てます。

寄付のお願い

本物の芸術を見せてくださるアーティストの招聘や、日々の活動の継続のために、皆様のご協力をお願いします。

法人・団体の方はメールアドレス(saku.butagei@gmail.com)までご連絡ください。個人の方は本公演チケット申込みサイトより寄付を受け付けております。

日々の活動の様子はFacebookとInstagramでご紹介しています。ぜひご覧ください。



ぶんらく 文楽ってなあに？

文楽とは人形浄瑠璃文楽座のことで、日本の伝統芸能です。300年以上前に始まりました。一体の人形を大人三人がかりで操り、太夫の語りと三味線の演奏によって話が進んでいきます。人形を操る人と、セリフを言う人が別々という日本独自のスタイルです。



人形はとても精巧にできていて、人形がどこにいてもまるで自分を見ているように感じるよ。人形劇だけど迫力のある音楽もついて、人形の感情も豊かに表現される魅力あふれる世界なんだちい！



文楽で何したい？



ぶんらく えん 文楽を演じる人たち

人形

3人で息を合わせて一体の人形を動かします。人形のかしら(頭)と右手を動かすリーダー役が「主遣い」、左手を動かす人が「左遣い」、足を動かす人が「足遣い」と呼ばれています。お客さんから見えないように、黒ずくめの格好をしています。

太夫

ものがたりのセリフや説明をメロディやテンポをつけてかたります。筆で書かれた「床本」と呼ばれる台本を見ながら、子どもから老人まで、ひとりでかたり分けます。

三味線

三味線の演奏で、登場人物の気持ちや場面の天気や状況などを表現します。嬉しさや楽しさを表す音と、悲しさを表す音の違いを聴いてみよう。

ぶんらく 文楽の人形

人形は頭の部分である「かしら」と、体の部分にあたる「胴」でできていて、中は空洞です。それでも重さは5kg～10kgくらいあります。男の人形を「立役」、女の人形を「女方」とよびます。女方の人形には基本的には足はなく、足遣いが着物の裾の裏側をつまんで動かすことで、足があるように見えています。



佐久に文楽がやってくる！

わくわく・びっくり 人形劇の世界

2023 10/28 土 11:00 開演
10:30 開場
(上演時間/2演目・1時間程度)

場所 佐久市コスモホール
小ホール 佐久市下小田切124番地1

料金 18歳以下の子ども 無料
大人 1,000円(税込)
全席自由 定員 150名

※子ども1人につき大人1人まで入場可

© 桂秀也

協賛

これからも文化を。これからの物語を。
Bunkamura

PORCO

こころのミュージカル
Heart to Heart



超まちづくり会社
MoSAKU

Y.M service



(有) 新津技建
www.niitugiken.net

森 清光



RAKULA

フルーツおばさんのcafé
(花水木)

TUMMY BAKERY



敬称略

日々の活動の様子は Facebook と Instagram
でご紹介しています。ぜひご覧ください。



この事業は ・令和5年度長野県地域発元気づくり支援金活用事業
・令和5年度佐久市佐久と支援金活用事業 です。

お問い合わせ saku.butagei@gmail.com
090-4724-1031 (大村)

佐久地域「舞台芸術の日」ホームページ
http://butagei.hp.peraichi.com/



略して「ぶたげい」

主催 佐久地域「舞台芸術の日」運営委員会+ぶたげいこどもスタッフ

ごあいさつ

本日はご来場いただき誠にありがとうございます。多くの方のご支援・ご協力のもと、第一回佐久地域“舞台芸術の日”を開催できますことを心より感謝申し上げます。この日に向けてぶたげいこどもスタッフ一同、初めての経験も楽しみながら準備して参りました。記念すべき第一回公演で人形浄瑠璃文楽座の方々をお呼びできますことを大変嬉しく思います。子どもたちが自らの手でまちを楽しんでいけるよう、今後とも地域の皆様と共に子どもたちの挑戦と活躍の場を創っていかたと願っております。

佐久地域“舞台芸術の日”運営委員

青木 雅樹 高山 慶子
内村 智子 太宰 文緒
大村 麻弥 やつづか えり

こどもスタッフ

上原 智菜未(小5) 亀谷 美緒(小5) 戸枝 観海(小4) 別府 瑚菜(小4)
内村 七海(小4) 高橋 七海(小4) 長岡 紗友(小6) 八塚 多音(小4)
大村 陽和(小5) 戸枝 寛那(小4) 中村 美晴(小4) 吉富 暖人(小6) 他
(五十音順)

スタッフ紹介

今回の公演を一緒に作りあげる

対象年齢

ぶたげい こどもスタッフ募集!

小学
4年生～

12月から月に1度、週末に実行委員会を開催し、次回の公演の準備をしていきます。

興味をもった人は、説明会に来てみませんか?

こちらのフォームからご連絡いただいた方に、日時と場所をお知らせします。

1次締切 11月10日(金)

応募は
こちらから



たとえばこんなことをやるよ

- どんな舞台芸術を上演するか考える
- 来てくれるアーティストさんと打ち合わせ
- 宣伝してお客さんを集める
- 当日の会場をステキにする
- お客さんの受付をする など

こんな人を待ってます!

- みんなで作りあげることが好きな人
- みんなが喜ぶことをするのが好きな人
- 舞台裏に興味がある人
- やってみたい! おもしろそう! と思った人

「ぶたげい」は小4から中3までの学校のちがう子どもたちと友達になれたり、みんなと考えて一緒にがんばるのが楽しいです。学校とはちがう楽しさがあります! ぶたげいこどもスタッフ一同

本日、受付に募金箱を設置しております。

本物の芸術を見せてくださるアーティストの招聘や、日々の活動の継続のために、皆様のご協力をお願いします。

2024年の公演に向けてご協賛いただける法人・団体の方は

メールアドレス saku.butagei@gmail.com までご連絡ください。

寄付のお願い



演目 人形浄瑠璃文楽座

/出/演/者/

二人三番叟
〔太夫〕豊竹靖太夫 〔三味線〕鶴澤清丈
〔人形(主遣い)三番叟〕吉田玉路 吉田玉征
〔三業解説〕豊竹靖太夫 鶴澤清丈 吉田玉翔

伊達娘恋緋鹿子 火の見櫓の段
〔太夫〕豊竹靖太夫 〔三味線〕鶴澤清丈
〔人形(主遣い)お七〕吉田玉佳

出演 吉田玉誉 吉田玉延 藤舎夏実



/演/目/紹/介/



二人三番叟

三番叟は能が始まりと言われていて、神社の祭りや宮中で縁起のいい舞としてお祝いのときに上演されてきました。語りと三味線で始まり、「千歳」の露払いの舞に続いて「翁」の厳かな舞に。後半は一転して、二人が力強く躍動的に舞います。

つか 疲れちゃった踊り手を、もう一人が肩を叩いて呼びに来るところが面白いんだちい!



伊達娘恋緋鹿子 火の見櫓の段

江戸時代に恋人に会いたい一心で放火事件を起こした八百屋の娘の物語。お七は、恋人の吉三郎が無実の罪で切腹させられる危機を助けるため、雪の凍りついた梯子を上って鐘を鳴らし、嘘の火事を知らせ時間を稼ぎます。冬の寒さとお七の熱い情念が鮮やかに演じられます。

やぐら 火の見櫓を登るお七が、ひとりで動いているみたいでびっくりだちい!



鑑賞の注意事項

マナーを守って 楽しもう!

- 携帯など音のなるものは電源オフかマナーモードに
- おどろいたときの歓声や拍手はいいけど、関係のないおしゃべりはやめよう
- 終わったら大きな拍手!